

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 1 区分

【発行日】平成 26 年 1 月 16 日 (2014.1.16)

【公開番号】特開 2012-254905 (P2012-254905A)

【公開日】平成 24 年 12 月 27 日 (2012.12.27)

【年通号数】公開・登録公報 2012-055

【出願番号】特願 2011-129646 (P2011-129646)

【国際特許分類】

C 0 4 B 28/02 (2006.01)

C 0 4 B 22/06 (2006.01)

C 0 4 B 40/02 (2006.01)

A 0 1 G 1/00 (2006.01)

C 0 4 B 14/02 (2006.01)

【F I】

C 0 4 B 28/02

C 0 4 B 22/06 Z

C 0 4 B 40/02

A 0 1 G 1/00 3 0 3 A

C 0 4 B 14/02 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 11 月 21 日 (2013.11.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくとも、アルカリ骨材反応性を有する骨材と、アルカリ性物質とを配合して、混練する工程を含む自己崩壊性コンクリート製造方法。

【請求項 2】

表層の炭酸化処理を行う工程を含む請求項 1 記載の自己崩壊性コンクリート製造方法。

【請求項 3】

アルカリ骨材反応性を有する繊維部材を配合する請求項 1 又は請求項 2 記載の自己崩壊性コンクリート製造方法。

【請求項 4】

アルカリ骨材反応性を有する骨材を含有し、内部の pH が 12 ~ 14 である自己崩壊性コンクリート。

【請求項 5】

表層における炭酸カルシウム含有量が 3 ~ 100 % である請求項 4 記載の自己崩壊性コンクリート。

【請求項 6】

アルカリ骨材反応性を有する繊維部材を含有する請求項 4 又は請求項 5 記載の自己崩壊性コンクリート。

【請求項 7】

請求項 4 ~ 請求項 6 のいずれか一項記載の自己崩壊性コンクリートで形成された植生基盤。

【請求項 8】

請求項 4 ~ 請求項 6 のいずれか一項記載の自己崩壊性コンクリートを植生基盤として用いる植物増殖方法。